

決算 審査

決算特別委員会

委員長 永田昌己



平成21年度の一般会計や
国保会計などの特別会計、
病院事業などの企業会計の
決算審査を3日間にわたり
行った。

一般会計は歳入総額17
0億7,358万円、歳出
総額160億1,976万
円となり、翌年度へ繰り越
すべき財源4億9,120
万円を差し引き、実質収支
は5億6,261万円の黒
字決算となった。

特別会計は、住宅新築資
金等貸付特別会計が赤字決
算であったが、その他の7
つの特別会計は黒字決算と
なった。

企業会計は、病院事業が
6,991万円の赤字、水
道事業が1億8,892万
円の黒字決算であった。

審査の結果、一般会計、
特別会計、企業会計とも認
定した。

主な質疑については、以
下のとおり。

問 浄化槽設置補助は申請
者にはすべて補助できたか。
補助額の見直しはあるか。

答 できた。浅く広くとい
う方針で補助していたが、
22年度より国の基準に見直
している。

問 市営住宅の改修計画は。
答 21年度に策定した長寿
命化計画に沿ってやってい
きたい。

問 一般会計から国保会計
への繰入れの考え方は。

答 法定外の繰入れはすべ
きではないという国の通達
もあり、互助相互の精神か
ら国保税と国庫支出金で
運営すべきと考える。

問 介護保険給付費が増え
ているが、保険料への影響
はあるか。

答 基金を積み立てていた
ので第4期は200円引き
下げた。急激な伸びがあれ
ば24年度からの第5期で引
き上げを検討せざるを得な
い。

問 老朽化した水道管の取
り替えの財源計画は。

答 収益の中から建設積立
金に積み立てているので、
計画的に更新する。

◇平成21年度一般会計の決算額

区 分	歳 入(A)	歳 出(B)
決 算 額	170億7,357万9千円	160億1,976万2千円
対前年度増減額	21億3,373万2千円	19億6,733万1千円

◇平成21年度特別会計の決算額

会計区分		決算額(対前年比)		会計区分		決算額(対前年比)	
国民健康保険	歳入	52億5,740万1千円(2.0%)		市営住宅 敷金管理	歳入	2,623万8千円(1.4%)	
	歳出	51億5,622万7千円(0.7%)			歳出	108万9千円(△2.0%)	
老人保健	歳入	1,920万5千円(△96.3%)		住宅新築 資金等貸付	歳入	2,462万8千円(388.9%)	
	歳出	1,011万8千円(△98.0%)			歳出	8,932万5千円(△0.1%)	
後期高齢者 医療特別会計	歳入	5億470万3千円(3.3%)		下水道事業	歳入	9億3,682万7千円(△9.9%)	
	歳出	4億8,587万9千円(2.2%)			歳出	9億1,850万8千円(△10.6%)	
介護 保険	保険事業 勘 定	歳入	27億4,428万9千円(2.2%)				
		歳出	27億2,073万1千円(6.3%)				
	地域包括 支援センター 事業勘定	歳入	3,632万6千円(1.6%)				
		歳出	2,994万1千円(△1.2%)				

◇平成21年度企業会計の決算額

会計区分		収益的収支(対前年比)		資本的収支(対前年比)	
病院事業	収入	33億7,975万6千円(9,731万5千円)		収入	2億3,793万8千円(△106万円)
	支出	34億4,988万9千円(△1億6,996万7千円)		支出	3億7,056万3千円(743万円)
水道事業	収入	6億7,332万4千円(473万2千円)		収入	3,684万5千円(△1,734万円)
	支出	4億7,164万4千円(△1,536万8千円)		支出	3億3,078万4千円(1億9,597万6千円)